

調査結果と授業改善のポイント〔中学校・英語〕

英語については生徒の平均正答率が60.5%で、全国平均を2.4ポイント上回っている。
 種別ごとに見ていくと、領域では、「聞くこと」は2.1ポイント、「書くこと」は4.5ポイント、「読むこと」は0.5ポイントと全ての領域で全国平均を上回っている。
 問題の内容では、「語彙の知識・理解」は6.3ポイント、「3文以上の英作文」は5.2ポイント全国平均を上回り、「長文の読み取り」は全国とほぼ同等、「語形・語法の知識・理解」は全国平均を2.6ポイント下回っている。
 観点別正答率では「外国語表現の能力」が4.4ポイント全国平均を上回っているのをはじめ、全ての観点で全国平均を上回っている。
 出題形式では、「記述式」が全国平均を5.4ポイント上回っているのをはじめ、全ての出題形式で全国平均を上回っている。

| 受検生徒数 | 設問数 | 平均正答率(県) % | 平均正答率(全国) % | 全国との差 |
|-------|-----|------------|-------------|-------|
| 861人 | 35問 | 60.5 | 58.1 | +2.4 |

| 種別 | | 対象設問数 | 平均正答率(県) % | 平均正答率(全国) % | 全国との差 |
|----------|---------------------|-------|------------|-------------|-------|
| 領域 | 聞くこと | 10 | 64.4 | 62.3 | 2.1 |
| | 読むこと | 12 | 61.0 | 60.5 | 0.5 |
| | 書くこと | 13 | 57.1 | 52.6 | 4.5 |
| 問題の内容 | リスニング(内容理解) | 6 | 76.4 | 74.0 | 2.4 |
| | リスニング(対話文の応答) | 4 | 46.4 | 44.8 | 1.6 |
| | 語形・語法の知識・理解 | 4 | 57.9 | 60.5 | -2.6 |
| | 語彙の知識・理解 | 4 | 77.9 | 71.6 | 6.3 |
| | さまざまな英文の読み取り | 4 | 60.2 | 56.1 | 4.1 |
| | 長文の読み取り | 4 | 64.9 | 64.8 | 0.1 |
| | 単語の並べかえによる英作文 | 4 | 60.6 | 58.2 | 2.4 |
| | 場面に応じて書く英作文 | 2 | 28.5 | 24.4 | 4.1 |
| 3文以上の英作文 | 3 | 43.8 | 38.6 | 5.2 | |
| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 16 | 54.7 | 51.5 | 3.2 |
| | 外国語表現の能力 | 11 | 43.2 | 38.8 | 4.4 |
| | 外国語理解の能力 | 18 | 63.6 | 61.5 | 2.1 |
| | 言語や文化についての知識・理解 | 12 | 65.4 | 63.4 | 2.0 |
| 出題形式 | 選択式 | 20 | 65.2 | 64.5 | 0.7 |
| | 短答式 | 8 | 69.2 | 64.9 | 4.3 |
| | 記述式 | 7 | 37.3 | 31.9 | 5.4 |

○：全国平均正答率を上回っている問題(上位3題)
 ▼：全国平均正答率を下回っている問題(下位3題)
 ()内の数値は県と全国の平均正答率の差

【設問ごとの定着状況】

〈聞くこと〉

- 対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答える問題(+8.1)
- 英文の要点(観戦日)を聞き取る問題(+6.9)
- 英文の要点(将来の希望)を聞き取る問題(+3.7)
- ▼英文の要点(姉がしてくれること)を聞き取る問題(-4.5)
- ▼対話の内容を聞き取り、交通手段について適切に回答する問題(-4.2)

〈読むこと〉

- スピーチの内容に関する質問に英語で答える問題(+5.8)
- 対話の流れとグラフから、登場人物の適切な発言を判断する問題(+5.4)
- 語形・語法を理解しているかどうかをみる問題(最上級の文)(+5.3)
- 対話の流れとグラフから、適切な数を判断する問題(+5.3)
- ▼語形・語法を理解しているかどうかをみる問題(過去進行形)(-8.0)

| |
|---|
| <p>▼語形・語法を理解しているかどうかをみる問題 (be going to の文) (－5. 4)</p> <p>▼スピーチの内容を把握する問題 (－4. 8)</p> <p>〈書くこと〉</p> <p>○英文を正しい語順で書く問題 (目的語に動名詞がくる文) (+12. 1)</p> <p>○単語を正しく書く問題 (食べ物) (+8. 3)</p> <p>○英語で依頼する文を書く問題 (相手に依頼する) (+6. 9)</p> <p>▼英文を正しい語順で書く問題 (don't have to ～を含む文) (－5. 9)</p> <p>▼英文を正しい語順で書く問題 (as ～ as ...を含む文) (－0. 4)</p> |
|---|

【授業改善のポイント】

| |
|--|
| <p>〈聞くこと〉</p> <p>□聞き取った英語に対して応答する活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語での質問に対して適切に答える活動を日常的に行う。 ある程度のまとまった量 (30語前後, 3, 4文程度) の英語を聞き取り, その内容を正しく理解する活動を取り入れる。 聞き取った事柄について内容を確認するために, Q&A (Yes-No question, 5W1H) やT-Fクイズの活動を取り入れる。 <p>〈読むこと〉</p> <p>□まとまりのある英文から大切な部分を読み取り, 情報を整理したり, 内容をまとめたりする活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 英文の量に慣れるために, 2年生で100～150語程度, 3年生で250～300語程度のまとまりのある英文の読み取り方について学習し, 内容を理解する練習を取り入れる。 5W1Hや代名詞が表すものなど, 内容を読み取るためのポイントとなる事柄を明確にし, それらを意識させながら英文を読む活動を取り入れる。 読み取った内容を確認する活動では, 要約の空所補充, Q&A (Yes-No question, 5W1H) やT-Fクイズなど英語を用いて行う活動を取り入れる。 <p>〈書くこと〉</p> <p>□意思や考えを英語で書いて相手に伝える活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語材料については, コミュニケーションを支えるものとして言語活動と一体的に指導する。動詞の活用や不定詞の使い方については, 使用場面を設定し, どんな場面でどのように使うのかを理解させると同時に, その定着のためにペアやグループ学習を取り入れ, 実際に使う場面を想定しながら繰り返し練習を行う。 1年生の初期の段階から日本語と英語の語順の違いを意識させて書く活動を取り入れる。第一段階として, 教科書の文章を基にして自分の経験や考えなどを英文に書く活動を取り入れながら自己表現活動で使える英文を増やしていく。 具体的な場面設定をし, 時系列にしたがって英語で説明したり, 身近な場面における出来事や体験したこと, 自分の考えや気持ちなどを述べたり, 尋ねたりすることを複数の英文で書き表す活動を取り入れる。その際にメモなど (日本語でも構わない) を使って自分の考えをまとめた上で, 5文程度のまとまった量の英文にする活動を取り入れる。 技能統合型の学習を設定し, 読んだことや聞いたことに対して自分の感想などを書く活動を取り入れる。 読み手への意識を持たせながら, 丁寧に, 正しく書く活動を取り入れる。 |
|--|

【正答率の高い設問】 上位3問

| No | 問題の内容 | 正答率 (%) |
|----|---------------------------------------|---------|
| 1 | 絵を適切に表している英文を聞き取る問題 (数・建物) | 92.1 |
| 2 | 指定された日本語を表す英文になるように, 単語を正しく書く問題 (開ける) | 91.8 |
| 3 | 絵を適切に表している英文を聞き取る問題 (予定) | 89.4 |

【正答率の低い設問】 下位3問

| No | 問題の内容 | 正答率 (%) |
|----|------------------------------------|---------|
| 1 | 英語で相手の希望をたずねる文を書く問題 | 19.4 |
| 2 | 対話の内容を聞き取り, 資料をもとに英語で答える問題 | 30.7 |
| 3 | 春休みにしたことについて, まとまった内容で説明する文を書き表す問題 | 36.8 |

【無解答率の高い設問】 上位3問

| No | 問題の内容 | 無解答率 (%) |
|----|----------------------------|----------|
| 1 | 対話の内容を聞き取り, 資料をもとに英語で答える問題 | 30.7 |
| 2 | 英語で相手に依頼する文を書く問題 | 27.5 |
| 3 | スピーチの内容に関する質問に英語で答える問題 | 25.0 |